

# 中日会報

公益社団法人 中部日本書道会  
編集事務局 名古屋市  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19  
桑山ビル8階C号室  
電話 (583) 19000番  
FAX (583) 19100番  
http://www.cn-sho.or.jp  
info@cn-sho.or.jp  
印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長あいさつ



理事長  
関根 玉振

酷暑の季節を過ぎ、清涼なる秋の訪れとなりました。会員の皆様には、つつがなくご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。

しかしながら、西日本においては九月四日昼に台風二十一号が関西に上陸、豪雨による災害が発生し驚愕いたしました。心が落ち着く間もなく、今度は九月六日に北海道地震が起きました。豪雨と地震、災害の原因は異なりますが、かけがえない家族の命を失った人、築いて来た人生の糧を喪失した人などの心に受けた痛手を少しでも理解し、温かい気持ちで勇気づけたいものです。

ここで会員皆様にお願ひしたいのは、毎年ご協力いただいております「チャリティー愛の募金」に一人でも多くご協力賜りますようお願い申し上げます。苦しい時にこそお互いに助け合おうではあり

ませんか。

さて、平成三十年度の中日書道会上半期の課題であった、第六十八回中日書道展を皆様のお力で無事乗り切ることが出来ました。私たち自身が発表の場を自らの手で造り上げることにより、中日書道展という大きなパフォーマンスを完成し成し遂げる。会員一人一人のご苦勞を得て、力を合わせなければ創造できないことです。会場の都合により、特に一科二科の会員の皆様には、ご不自由をお掛け致しました。それらを含めまして、改めて感謝し御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

下半期の企画では、新たに児童を対象とした「夏休み毛筆体験教室」を、書道教育研修会に合わせて実施致しました。会員の皆様にも『書』を、様々な角度からご考察頂けるように、企画を立て、色々な方々のお話や研修、展示会を通じて自分自身へのチャレンジとして頂ければと思います。

皆様のご協力を頂きながら、共に一歩ずつ歩みを進めたいと願っております。これからも宜しくお願い致します。

## 「2018年 チャリティー愛の募金」について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会の福祉事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本会では、毎年年末に「チャリティー愛の募金」を行っております。

つきましては、本会役員の先生方並びに会員の皆様には広く献金をお願いし、中日新聞社会事業団・東海テレビ“愛の鈴”の方へ寄託をして参りたいと思います。何卒主旨ご理解の上、下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この募金の締め切りを、平成30年11月10日(土)といたします。

お申し込は、郵送された専用払込用紙にてお願い致します。

尚、献金の経過並びにご芳名は1月発行の中日会報でご報告をさせていただきます。

敬 具

理事長 関根 玉振  
渉外宣伝部長 川崎 尚麗

### 目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 チャリティー愛の募金
- 3 第三十回 書道教育研修会
- 4 夏休み毛筆体験教室
- 5 第二十七回書展
- 6 第三十五回 読売書法展入賞者
- 7 第七十回毎日書道展入賞者
- 8 第六十九回中日書道展展作募集
- 9 第二十二回書の魅力 公開講座
- 10 支部だより(上半期)

### 団体署名実施協力中

つなごう日本の書道文化  
ユネスコの無形文化遺産に



#### ご献金をお願いの基準

名誉会長代行、名誉副会長、常任顧問、理事、 監事、顧問	10,000円
参与、評議員	3,000円
正会員	1,000円

チャリティー募金は寄付金として控除できます。

確定申告時には、領収書と証明書が必要です。領収書をご希望の方は本部事務局までご連絡ください。

証明書は中部日本書道会ホームページから印刷できます。  
ホームページ <http://cn-sho.or.jp/> メール [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

# 第30回 書道教育研修会

日時 平成30年8月5日（日）

場所 名古屋国際センター

## 第三十回書道教育研修会を 開催して

教育部長 廣澤凌舟

八月五日（日）名古屋国際センターにおいて第三十回書道教育研修会（参加者三十六名【会員二十八名、一般八名】）を開催いたしました。

講座に先立ち、書道講話では伊藤仙游副理事が書家のエピソードを交えて書の歴史をお話くださいました。王羲之の少年時代、初唐の三大家から宋の米芾まで、面白い逸話の数々に皆さん興味深く聞き入っていました。

漢字の横井宏軒先生は「隷書を学ぶ」と題して、実技講習をしていただきました。前半は初級向けに基本の筆法をテキストとスクリーンを使って説明、その後各々の質問を受けながら巡回指導いただきました。後半は曹全碑など後



書道講座 伊藤仙游副理事



漢字講座 横井宏軒先生



漢字講座 研修風景



かな講座 高根桂祥先生による作品揮毫

漢の隷書を臨書、受講生からは「起筆の筆遣いがよくわかりました。」「普段と違う勉強が出来て良かったです。」と喜んでいただきました。

かなの高根桂祥先生は、「かな書の魅力―楽しく学びましょう―」と題して、お手本の臨書を中心とした講座でした。二人の助手の先生が机間巡回で指導される中で、高根先生は、添削指導を一人お一人に熱心になされ、多くの受講生が先生を取り囲んでの研修会となりました。最後には、その場で先生の巧みな筆使いを拝見する機会もあり、その作品を頂く幸運に恵まれた受講生の方々も見られ、主として『楽しい研修会』となりました。

最後になりましたが、御多用中にもかかわらず講師をお務めいただきました先生方、教育部の皆様にも厚く御礼申し上げます。また、お申し込みいただきました皆様にも重ねてお礼を申し上げます。



# 第30回書道教育研修会 併催 小中学生夏休み毛筆体験教室

日時 平成30年8月5日（日）

場所 名古屋国際センター

## 「夏休み毛筆体験教室」を開催して

教育部長 廣澤 凌 舟

八月五日（日）名古屋国際センター四階におきまして小中学生を対象とした「夏休み毛筆体験教室」を開催いたしました。

参加者は、午前十六名、午後十八名、計三十四名となりました。

参加者は受付で名札と希望するお手本を受け取り、自由に席に座っていただきました。保護者の方にはアンケート用紙と今年の「書きぞめ展」の入賞者名簿をお渡しし当会の取り組み概要をご覧いただきました。

お待ちいただく間は受講生も保護者の方も緊張の様子でしたが講師の先生が「リラックスして腕をまわしてごらん」と発して下さり、張りつめた空気が一変、温かい雰囲気の中でスタートとなりました。

講師の先生方は子供達一人一人に声掛けをしながら、やさしく丁寧に指導されていきました。子供たちの緊張を解きほぐすように体操をしたり、添削に作品を持っていくと一杯褒めていただけたりと楽しい経験となったようです。

今回の参加者は書塾に通っていない人が七割近くでしたが初めての良い経験になったようです。「冬にも体験教室はありますか？」と嬉しいお尋ねもいただきました。

最後になりましたが、ご多用中にも拘らず講師をお務めいただきました先生方はじめ、お手伝いいただきました教育部の皆様に厚く御礼申し上げます。

・講師 中日書道会 企画委員の先生



毛筆体験風景（午後）



毛筆体験風景（午前）



講師による添削



講師による添削

平成30年度 公益社団法人 中部日本書道会  
**第27回 壽書展**

70才以上の方を対象にご長寿をお祝いし、益々のご健勝を祈念して開催致します。  
 ご高覧下さい。

**会場：**電気文化会館（5階 東・西ギャラリー）  
 名古屋市中区栄2-2-5

**会期：**平成30年11月27日(火)～12月2日(日)  
 午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）

**主催：**公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社  
**後援：**愛知県・愛知県教育委員会・岐阜県・岐阜県教育委員会・三重県・三重県教育委員会  
 名古屋市・名古屋市教育委員会

◇出品予定者

- |        |        |       |       |       |       |       |       |        |        |       |        |       |       |        |       |        |       |       |       |       |        |       |       |        |       |       |        |       |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 三神 榮軒  | 堀場 凶南  | 平田 蘭石 | 中村 秀峰 | 坪井 景照 | 津田 秋月 | 田中 白雲 | 武山 翠屋 | 武山 昂石  | 佐々木 崑邦 | 近藤 素光 | 権田 穂園  | 倉重 拝石 | 落合 深淵 | 安藤 秀川  | 松永 清石 | 平松 紫雲  | 中林 蒨風 | 土屋 陽山 | 後藤 汀鷺 | 黒田 玄夏 | 伊藤 昌石  | 鬼頭 翔雲 | 安藤 滴水 | 樽本 樹邨  |       |       |        |       |
| 加藤 碧涛  | 小野田 景月 | 尾中 杉得 | 尾関 楊花 | 岡田 麗峰 | 大塚 窓月 | 江馬 翠峰 | 梅村 鶯谷 | 伊吹 代美  | 伊藤 翠芳  | 石原 春香 | 飯沼 天光  | 赤堀 正風 | 青山 瑞香 | 青木 芳翠  | 築瀬 舟香 | 服部 祥石  | 中川 京童 | 鈴木 瑞象 | 杉江 秀城 | 柴田 秋水 | 小嶋 和晃  | 亀井 幡川 | 磯和 鴻東 | 渡邊 笙鶴  | 横山 夕葉 | 森 清暉  |        |       |
| 野中 曾川  | 丹羽 裕   | 新美 珠光 | 中村 竹童 | 中村 曾南 | 中村 清園 | 中川 貴舟 | 鴉澤 澄江 | 角田 和泉  | 竹内 春翠  | 高田 香坡 | 鈴木 静苑  | 下郷 豊園 | 志水 玉華 | 酒瀬川 香風 | 齊藤 千秋 | 齋藤 翠苑  | 近藤 晴翠 | 近藤 雲洋 | 後藤 松烟 | 児島 泰碩 | 小島 雪舟  | 幸村 溪雪 | 熊崎 北咏 | 工藤 茜邑  | 清 芳園  | 木村 霞月 | 北村 光苑  | 神谷 静苑 |
| 縣 欣司   | 青山 碧雲  | 渡辺 北嶺 | 渡辺 月潭 | 山田 鶴玲 | 山田 海石 | 山川 昌泉 | 山川 杉徑 | 保田 翠溪  | 森 實年子  | 森 京華  | 毛利 恵風  | 村瀬 竹風 | 三輪 晴風 | 宮田 清風  | 三宅 杞璋 | 光澤 閑石  | 松下 鶴苑 | 増田 春暉 | 本田 秀岳 | 古川 侃司 | 藤原 郁代  | 深田 芳香 | 坂野 竹童 | 早野 江郷  | 則武 穹  | 野村 暁峰 | 野々垣 清城 |       |
| 廣瀬 玉樹  | 樋口 白扇  | 林 誠哉  | 野村 繁子 | 中垣 幸聲 | 田中 桜花 | 竹内 芳華 | 宗林 翠徑 | 鈴木 花郎  | 澁谷 弘峯  | 佐藤 桃華 | 佐々木 博山 | 榊原 悠園 | 坂井 虹輝 | 近藤 諏谷  | 小林 稚泉 | 小早川 恵祥 | 黒野 翠雲 | 黒岩 翠華 | 熊谷 弦謠 | 國廣 寿仙 | 加藤 芳枝  | 勝山 滋紅 | 大野 瞬玲 | 大河戸 柳光 | 今村 禎邨 | 伊藤 鴻仁 | 石倉 桜舟  | 浅井 清泉 |
| 十月九日現在 | (順不同)  | 加藤 真郷 | 久住 里香 | 大野 大典 | 山口 紅陽 | 吉川 抱雲 | 山田 望星 | 佐々木 陽道 | 伊東 華水  | 渡邊 翠芳 | 堀 美芳   | 菱田 花影 | 寺尾 洌  | 田辺 泰子  | 鈴木 菊江 | 杉本 錦楊  | 小島 紫藍 | 岡田 正舟 | 太田 荀媪 | 渡辺 紫江 | 横井 多恵子 | 山田 祥恵 | 森 一葉  | 水野 紅翠  | 牧野 瑞風 |       |        |       |



第三十五回 読売書法展入賞者

(本会会員関係分) 〔中部展出品者より〕

読売新聞社賞(漢字) 横井 宏軒



読売新聞社賞

〈漢字〉

片山 清州

横井 宏軒

〈かな〉

伊藤 文恵

〈篆刻〉

田中 修文

〈調和体〉

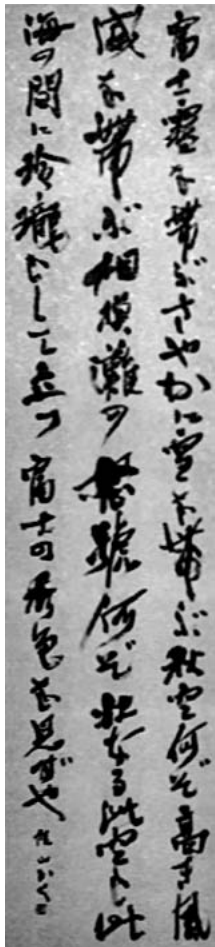
山中 桂山



読売新聞社賞(篆刻) 田中 修文



読売新聞社賞(漢字) 片山 清州



読売新聞社賞(調和体) 山中 桂山



読売新聞社賞(かな) 伊藤 文恵

読売俊英賞

〈漢字〉

落合 玉泉

深谷 恵庭

松井 秀峰

〈かな〉

天野 月清

小谷 春苑

〈調和体〉

藤堂 弘風

〈漢字〉

石川 明加

伊藤 昌園

小林 峰玉

鳥居 竹泉

仲村 春水

新美 秋鳳

丹羽 藍水

花井 蘭徑

坂 九塔

福田 博芳

〈調和体〉

太田 葉子

関根 玉翠

堀 清溪

水田 珪華

特選

〈漢字〉

伊藤 舒榮

今井 夏虹

井村 耕心

外山 悠汀

山田 真如

〈かな〉

大嶋由美子

鏡 千裕

〈篆刻〉

水谷 有志

〈調和体〉

小松 翠篁

柴田恵美子

竹浦 榮翠

西脇 聖園

秀逸

〈漢字〉

原 翠舟 浜島 緑風 野村 揚月 西山 美翔 西田 康華 夏目 美沙 中村 桂華 内藤 蒼月 遠山 柳恵 種田 瑞鳳 竹田 景汀 鈴木 美豊 鈴木 白翎 鈴木 雲峰 熊谷 石華 草野 慧泉 奥村 三葉 岡田 翔鳳 岡田 恵鶴 大橋 南風 宇佐美吉恵 今村 寿鴻 猪又 松峰 井谷 李春

秀逸

〈かな〉

古田 清流 堀田 智洋 前川 緋邑 松本 春楊 溝口 純華 向山 青泉 望月 希彩 山口 竹汀 石田 三喜 安藤 幸恵 稲吉 欣香 稲吉小夜子 井上三保子 岩田 香翠 加藤 玉華 川本 泉 坂本 裕香 佐藤 典子 鈴木 千恵 鈴木 千恵 瀨古 光代 土屋 香風 丹羽 博美 橋本 富子

秀逸

〈篆刻〉

福井 芳子 古山 玉扇 松田 典子 三浦 玉泉 宮口 弘子 稲垣 泗郷 太田 累倫 小川 勝代 真田 九龍 石橋 遊貴 大野 蘭香 片岡 祥泉 佐分 暢光 戸松 香苑 豊嶋 青岑 本田 吉華 松尾亮太郎 三宅 夕麗 吉田八千代

第七十回 毎日書道展入賞者

〔本会会員関係分〕  
〔東海展出品者名簿より〕



第70回 毎日書道展会員賞 瀧谷 鳴風

会 員 賞

〈近代詩文書部〉  
瀧谷 鳴風

毎 日 賞

〈漢字部Ⅱ類〉  
小川 東歩  
佐藤 晨麗

〈近代詩文書部〉  
牛場 露風  
羽根 寿子  
福谷 紅華

秀 作 賞

〈漢字部Ⅰ類〉  
青山 高陽  
高橋 白羊  
堀尾 岳南  
森 政子

佳 作 賞

〈漢字部Ⅰ類〉  
石原 聲風  
太田 祥風  
谷口 琇苑  
中井 港星

U 23 奨励賞

〈近代詩文書部〉  
原田 沙季  
村松 泰然  
若杉 怜華

井上 香苑

片桐千賀子

神村 啓江

〈近代詩文書部〉  
梶田 汀雨  
加納 玉珠  
下村 佳風  
平野 智山  
増田 紅葩  
森 雪華  
横井 吟紅  
横地 亜紀  
野村 蒼丘

村上 影月

毛利 恵風

小川 華舟

河村 紫夙

保田 翠苑

山田 流芳

吉兼 理樹

大沢 真弓

岡本 裕鼎

奥田 薫苑

奥村 順子

上中 千尋

近藤 瑤華

酒井 琴泉

谷口 大観

遠 美峰

枋久保律子

丹羽 崑代

宮本 清霞

村田 華雪

村田 籬香

山田 鶴玲

山村 光葉

〈大字書部〉  
北村 義弘

日下部みゆき

白石 智舟

中島祐三子

山本 康二

〈近代詩文書部〉  
梶田 汐里

U 23 毎日賞

〈近代詩文書部〉

梶田 汐里

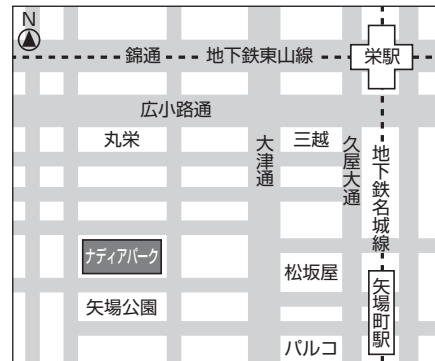
※両展共記載漏れについては極力注意しておりますが、万が一ございましたら本部まで一報ください。  
次号に掲載させていただきます。

# 第69回 中日書きぞめ展作品募集

◆会期 平成31年3月16日(土)・17日(日)

16日(土) 午後1時～午後6時  
17日(日) 午前10時～午後6時

◆会場 ナディアパーク2F アトリウム  
名古屋市中区栄3丁目18番1号



◆授賞式 平成30年3月17日(日) 午後2時  
ナディアパーク3F デザインホール

◆褒賞 文部科学大臣賞、愛知・岐阜・三重各県知事賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県議会議長賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中日書道会賞、中日新聞社賞、東海テレビ放送賞、CBCテレビ賞 (以上申請中)、名誉会長賞、理事長賞、推薦、奨励賞、特選、準特選、秀逸、佳作、入選 ※会場には奨励賞以上の作品を陳列します。  
★本年はCBCテレビ賞以上の作品を中日展 (一般部展覧会) 名古屋市民ギャラリー8階に 2019年6月11日 (火)～16日 (日) まで展示します。

◆資格 幼年・小学生・中学生・高校生

◆課題 自由 — 参考 —

- |    |           |    |            |    |              |
|----|-----------|----|------------|----|--------------|
| 幼年 | うたのち      | 小4 | 自然の美・生命の力  | 中2 | 友好を深める・地球大交流 |
| 小1 | みらい・みどり   | 小5 | 夢の大地・世界交流  | 中3 | 墨の祭典・環境の美化   |
| 小2 | ふれあい・心のとも | 小6 | 地域開発・友情の輪  | 高校 | 新技術開発・友好提携   |
| 小3 | 生きる力・町の美化 | 中1 | 未来の夢・美しい自然 |    |              |

◆出品要項 詳しい出品要項出品目録が中日書道会本部にありますのでお問い合わせ下さい。

◆作品 ○用紙は、半切1/4縦 (ハツ切) ※高校生は半切縦も可 ○作品は、表装しないこと。  
○書体は、幼・小=楷書、中=楷書又は行書、高校生=自由  
○作品には、学年・氏名を必ず明記すること。

◆出品料 一点につき400円 (個人出品者は賞品、賞状の郵送料として300円を加算して下さい。)

◆搬入締切 平成31年1月17日(木) 午前10時～午後3時  
(送付される場合は16日(水)中部日本書道会本部必着をお願いします。)

◆搬入場所 公益社団法人 中部日本書道会  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室  
担当 教育部長 廣澤凌舟  
TEL <052> 583-1900 FAX <052> 583-1910

◆取扱所 伊藤大林堂、永楽堂、應天堂、魁盛堂、伽藍、菊屋商店、高誠堂、小松表具店、書遊 平野筆墨堂、新泉堂、青雲堂、青柳堂、荘文堂、大玄堂、長楽斎筆舗、名古屋キョー和、名古屋ハウコドウ、松屋紙店

主催 公益社団法人 中部日本書道会、中日新聞社  
後援 愛知県・愛知県教育委員会、岐阜県・岐阜県教育委員会、三重県・三重県教育委員会、  
名古屋市・名古屋市教育委員会、東海テレビ放送、CBCテレビ (申請中)

# 平成30年度 第22回 書の魅力 公開講座

会員及び一般市民を対象に、中部日本書道会を代表する2名の講師が書の魅力について講演します。

12月2日(日)

受付 12:30

開会行事 13:00

第一講座 13:15~14:15

常任顧問

**伊藤昌石先生**

演題「三体千字文から学ぶ」

第二講座 14:35~15:35

理事

**鈴木立齋先生**

演題「私と呉昌碩」

開会行事 15:35 修了証授与

会場 電気文化会館  
イベントホール (5階)  
名古屋市中区栄2-2-5

日時 平成30年12月2日(日)

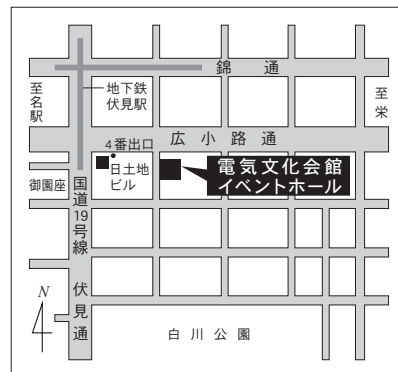
会費 無料  
(ただしテキスト・資料代として2,000円集めさせていただきます)

対象 一般市民(15才以上)で原則として2講座とも聴講できる方

定員 150名(先着順)

締切 10月31日(水)

申込 はがきに住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記まで  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階 C号室  
公益社団法人 中部日本書道会 公開講座係



第27回 壽書展開催 会期 平成30年11月27日(火)~12月2日(日)  
会場 電気文化会館(5階 東・西ギャラリー)

主催:公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社 後援:愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

## 国外旅行研修補助制度のご案内

本会では、会員(準会員・正会員)が、視野を広め、見識を高め、教養の向上をはかることを目的に外国旅行をする場合、その費用の一部を補助する制度があります。

### ①補助の対象者

会員期間が満十年以上の者とする。

### ②補助金額

旅行先及び旅行日程にかかわらず二万円とする。

### ③補助回数

会員期間中一回とする。

### ④申請等の手続き

申請 補助を受けようとする場合は、外国研修旅行補助申請書を提出する。  
申込期日 原則として旅行予定日の一ヶ月前までに提出する。

旅行の変更 旅行の予定変更又は中止の場合は、直ちに外国研修旅行変更(中止)届を提出する。  
添付書類 旅行費用を払い込んだ会員は、申請書に受領書(旅行先・日程等明記)又はその写しを添付する。

補助金の交付 申請書を審査し、適格者に対して銀行振込により交付する。  
事後報告 旅行を終了した会員は、速やかに外国研修旅行終了報告書を提出する。

補助金の返還 補助金を交付した後に、旅行中止の場合は、補助金は変換させるものとする。

会員の皆様は、この補助制度を大いに利用して下さい。  
担当 総務部

## 新入会員紹介(八・九月份)

一宮支部 日置 康苑

### 訃報

心より哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。(厚生部)

○3月29日 準会員 榎原華川氏 享年77才

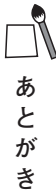
○5月18日 正会員 戸部美扇氏 享年45才

○7月24日 準会員 小塚美枝氏 享年73才

○8月22日 正会員 村瀬明子氏 享年61才

○8月25日 評議員 浜田翠雲氏 享年78才

○9月26日 顧問 岡本吉泉氏 享年75才



### あとがき

中日会報第一九〇号をお届けいたします。

本号で会報発行が、一九〇号となりました。諸先輩方の長年に亘るご努力の結果により綴られた結晶と考えますと、中日会報一冊一冊が、まさに中日書道会の歴史と伝統の証しである思いです。今後とも、皆様方のご協力を頂きながら、次に繋げて行けるよう努力してまいります。本年度の教育研修では、ペテランの先生方による二講座のほか、初めての試みとして小・中学校の生徒さんによる毛筆体験教室が開催されました。その様子もご覧ください。(編集部)

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>  
メールアドレス [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)



# 支部だより (平成三十年度) 上半期

## 一宮支部

### ●二〇一八 一宮総合美術展

会 期 六月七日(木)～十日(日)  
 会 場 一宮スポーツ文化センター  
 出品者 一宮支部員四十四名  
 主 体 一宮市教育委員会

#### 一宮市芸術文化協会

一宮市芸術文化協会に所属する書道・日本画・洋画・彫刻立体・デザイン・工芸・写真の、各団体から推薦された作家による、一宮市が誇る総合美術展です。

一宮支部からは四十四名が各々の思いで書かれた半切以上の大作を出品、全部門で総勢百五十名による大展開会であり、多くの方々にご観覧いただきました。

書部門の代表理事を務める当支部は、出品だけではなく、陳列・会場当番等の協力も行いました。



一宮総合美術展



選抜作品展



七夕まつり学生書道展

### ●第二十五回選抜作品展

会 期 七月十四日(土)～十五日(日)  
 会 場 一宮スポーツ文化センター  
 出品者 一〇二名

「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」の協賛行事であり、一宮書道連盟主催第四十六回七夕まつり学生書道展とあわせ、一宮支部として後援しています。

この「選抜作品展」は、支部役員を中心に学生書道展参加指導者も出品し、「読めて、楽しくユニークな小作品」をモットーとしていきます。各々表現方法に工夫を凝らした作品も多く、立ちどまって見入る来場者も少なくありません。

学生書道展と同会場にて開催されるため、ご家族での参観者も多く、良きふれあいと学びの場になりました。

## 半田支部

### ●第五十四回学童書道展

会 期 七月二十一日(土)～七月二十二日(日)

会 場 半田市福祉文化会館

出品数 二二四四点

支部役員と出品指導者の先生方により厳正な審査が行われ、文部科学大臣賞をはじめ数多くの賞を決定。本年は授賞式を十三年ぶりに展示会場で行いました。

いつもの慣れた会場と違い子供たちも少し緊張気味、支部の先生方も緊張

の中、無事終わることができ、よい授賞式だった。式の間作品が見れな

かった等ご意見をいただき来年の反省材料。



学童書道展

### ●「寿」色紙贈呈

寄贈日 八月三十一日(金)

寄贈先 半田市、東浦町、阿久比町

武豊町、美浜町、南知多町

寄贈数 六四〇枚

本年も近隣一市五町の高齢者のご長寿を祝うため市・町を通して寄贈しました。



「寿」色紙



公開書道研修会

### ●第五十二回半田支部展

会 期 九月二十三日(日)～九月二十四日(祝月)

会 場 半田市福祉文化会館

出品数 一二六件

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游副理事長、岡野楠亭理事、松下英風副理事長、大池青岑事務局長の玉作を賛助出品していただき、会場に花を添えていただきました。出品作品も多種多様な作品が増え、見応えのある展覧会ができました。

### ●第四回公開書道研修会

会 期 九月二十三日(日)

会 場 半田市福祉文化会館

講 師 本部研究部長 武内峰敏先生

参加者 四十七名

本年は「近代史文のいろは」をテーマに、武内先生より金子鷗亭先生の書の創作要訣二十章のお話、そして先生が長年収集された貴重な図録等を見せていただきました。勉強、その後、実技指導をいただきました。短い時間でしたが参加者の方々に一人一人丁寧にご指導いただき、みなさん大変満足して見えました。



支部展

西三河支部

第五十一回学生書道展

会期 七月十三日(金)～十五日(日)  
 会場 岡崎市美術館  
 出品数 五、七五七点  
 (内高校生三六〇点)  
 入場者 一、九二三名



学生書道展

が多くなごやかな雰囲気にも包まれた三日間でした。

毎年テーマを決めての学生書道展。今年は「空」をテーマに開催いたしました。高校生以下の来場者には支部分入り鉛筆を配布しました。今年も家族連れ

(課題)

幼年	にじ	一年	つき
二年	くも	三年	夕日
四年	大空	五年	明星
六年	太陽	中一	銀河
中二	空路	中三	雲海
高校生	天体観測		

出品要項作成から賞状商品発送までの五か月にわたる作業でしたが、事務局員が一致団結して協力、心より感謝いたします。そして一人でも多くの子供たちが、将来書道に携わってもらえるように切に希望し頑張っております。

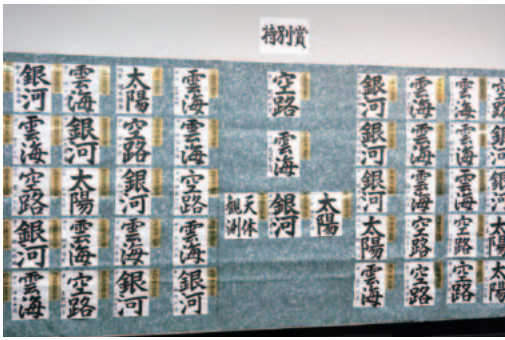
●運営委員会

六月三日(日)

●企画委員会

四月二十一日(土) 五月六日(日)  
 七月二十九日(日)

主に学生書道展の作業、賞品等について審議を重ねる。



優秀作品



審査風景



貼付作業

東三河支部

東三河支部展

会期 七月十日(火)～十五日(日)  
 会場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
 一、二、三、四室  
 出品者 支部会員  
 出品数 一二三三三



支部展

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游副理事長、岡野楠亭副理事長、松下英風副理事長、大池青岑事務局長の玉作を賛助出品していただき、第四十二回東三河支部展を開催しました。

会場を、当初計画していました豊橋市美術館から、本会場に変更しましたが、諸先生方、多くのお客様に温かいご指導や励ましを賜わり、盛会のうちでございました。

●講演会

日時 七月十四日(土)午後三時半  
 会場 ロワジールホテル豊橋 桜の間  
 講師 中部日本書道会理事長 関根玉振先生  
 演題 「筆をもって五十六年」

講師の関根玉振先生は現在、日展準会員、読売書法会常任理事、謙慎書道会常任理事を勤めてみえます。また、愛知県立大学講師として学生たちの書道教育にも携わってみえます。

本講演では、書家を志し精進してこられた歩みの中から、ご自身が学ばれた古典法帖とその歴史的背景、魅力を感じられた篆

書について、映像を使ってわかりやすくお話しされました。また、揮毫もしていただき、間近で先生の筆遣いを学ぶことができました。



講演会

講演の終わりに、書道を学ぶ者としての心構えをいくつか教授していただきました。やりつづけること・みとりけいこ・たくさん書くこと・工夫すること・目習い 手習い 指習い

●会員集会・交流会

日時 七月十四日(土)午後五時十五分  
 会場 ロワジールホテル豊橋 桜の間  
 参加者 一〇二名

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游副理事長のご臨席を賜り、平成三十年度東三河支部会員集会を開催しました。平成二十九年事業報告並びに三十年度事業計画、平成二十九年収入決算報告及び三十年度収入支予算案について報告があり、会員集会議事を無事終えることができました。

引き続き会員交流会に入り、関根理事長からお祝いの言葉や温かいご指導をいただき、伊藤副理事長の乾杯のご発声で会が始まりました。歓談の途中、第六十八回中日書道展入賞者が紹介され、会員一同盛大な拍手でお祝いしました。終盤、関根理事長直筆の小作品をいただく機会があり会場は一段と盛り上がりました。



会員交流会



濃飛支部

●濃飛支部上半期支部だより

○企画委員会 四月十五日(日)

於 中津川照寿庵  
・三十年度濃飛支部事業その他

●濃飛支部展

日時 三十年七月二十七日(金)～二十九日(日)

会場 恵那市文化センター

中日書道展出品作品三十八点と小作品二十五点本部の賛助作品五朵花を添えて戴き計六十四点。

広い会場一杯展覧されました。賛助出品の先生方の作品には会員が多く集まり研究会が始まっています。



展覧会

今年新たに濃飛支部に加わって戴きました会員さんの篆刻の作品が珍しく篆刻にも関心を持たれた方も多くありました。参加者は三日間で三百名程でした。

●支部集会

日時 七月二十九日(日)

会場 恵那文化センター

本部より副理事長岡野楠亭先生、総務部長天野白雲先生が御臨席くださり御挨拶を戴いた後、二十九年事業報告、収支決算報告を受け承認されました。次に三十年度事業計画案、収支予算案が提案されいづれも可決されました。

●講演会 支部集会終了後

演題 「源氏物語の魅力」

講師 桑田靖之先生(名古屋NHKカ

ルチャーの万葉講座 源氏物語の講師)

光源氏が愛した宮中の女性は、好きになれば血縁や常識にとられず愛してしまうというあやしくな恋。

先生は源氏物語の魅力を表情豊かに話されました。一般の方々にも呼びかけ参加して戴きましたので百人近い方が耳を傾けました。



講演会



講演会

●交流会

日時 七月二十九日(日)六時より

場所 恵那峡グランドホテル

オープニングは『村の祭り太鼓』たんぽぽ作業所の皆さんでした。真剣で力強い演奏に心打たれました。来賓の天野先生、濃飛支部顧問の市川先生の挨拶のあと楽しく交流会が行なわれました。中でも飛び入り



交流会

で「どじょうすくい」を披露してくださいました。三野島先生の演技は圧巻でした。濃飛支部の皆さんの健康と益々の精進を願って閉会としました。

北勢支部

●第三十二回北勢支部展

会期 七月二十日(金)～二十二日(日)

会場 四日市文化会館 一階展示室

出品数 八十四点

入場者数 三五〇名

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游、岡野楠亭、松下英風副理事長、大池青岑事務局長の玉作を拝借し、会場に花を添えて戴きました。また会員の作品はさまざまな書



支部展

風を見せた力作揃いで見ごたえのある支部展でありました。そして講習会の折、有機顔料の入った鈴鹿墨で寸松庵色紙に書かれた作品も展示されました。

●支部集会 講演会・懇親会

支部集会

日時 七月二十二日(日)

会場 四日市市文化会館第三ホール

本部より関根玉振理事長、伊藤仙游副理事長、大池大池青岑事務局長をお迎えし平成二十九年事業報告、収支決算報告、三十年度事業計画案、予算案が承認されました。

講演会・懇親会

講師 常任顧問 黒田玄夏先生

演題 「近代詩文を書く」

参加者 八十五名

作品制作には疎密、大小、潤濁、太細、



講演会



黒田先生による揮毫

広狭の相反する要素を共存させる両極の美が大切というお話の後、揮毫に入り黒田先生の社中展での「平和の俳句」の作品の中から井口支部長のリクエスト五本の揮毫では羊毛長鋒の鮮やかな筆先の動きをみせて頂き、また三本の筆で身体をダイナミックに動かして三・五×四・五尺の紙に書かれた姿に受講者は圧倒されました。その後、黒田先生の書の作品構成のお話しをしていただき、受講生は終始黒田先生のお話しを傾聴していました。

講演会后、シティホテルに移動して黒田先生を囲んでの懇親会が行われ、最後に黒田先生が書かれた作品の抽選会があり大変楽しい懇親会になりました。



中南勢支部

平成三十年度、上半期の行事は無く、後半に集中しております。  
今年度、初めて支部展開催中に支部集会、講演会を開催することに決まりました。

平成三十年度事業計画予定

●中南勢支部研修会

平成三十年十月二十一日(日)  
春日井道風記念館「坪井正庵没後三十年記念展」鑑賞  
他、メナード美術館「島田省三展」等々鑑賞  
小牧山城史跡公園散策

●中南勢支部展

平成三十年十一月十四日(水)～十一月十八日(日)

三重県立美術館 県民ギャラリー

●中南勢支部集会・講演会・懇親会

平成三十年十一月十七日(土)

三重県立美術館講堂にて講演会

講師 川喜多 久氏 「半泥子の想い出」

懇親会 美術館隣接の「ヴォンヴィバン」

本部より、関根玉振理事長、岡野楠亭副理事長、山内江鶴半田支部長、林柏堂編集部部长にご臨席頂きます。

行事が下半期に集中しておりますので、

会員一丸となつて意義のある内容の企画実行に励みたいと思います。本部始め会員皆様の、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



岐阜支部

●岐阜支部展を終えて

第二十四回、岐阜支部展を九月十四日(金)～十六日(日)迄開催致しました。会場全体にすっきりとした展示になりました。ご来場の皆様には一点、一点ゆつくりと鑑賞していただけたかなと思います。

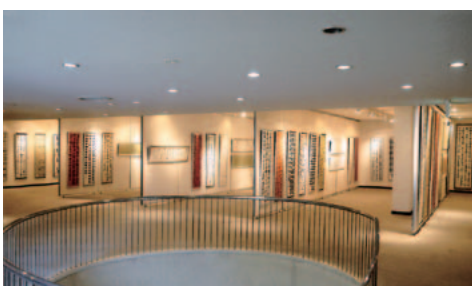
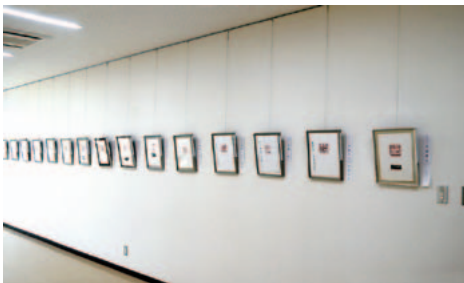
今年は仮名作品が少目で、漢字が多く、そのうえ、加工紙が多数有、一足早い秋かなと……。会場をすすみ、無鑑査、依頼、役員とすすんで来ますと、黒、白の力強い作品、美しい線質の作品、さすが練度の高い作品が並び、支部ならばこそ、味わうことが出来る書の深さ、妙味をご出品頂きます。

した方々にも、ご来場を願うものがございます。

出品数 二五六点(含若年層)



陳列作業



支部展会場風景